

平成23年度私立学校初任者研修 全国研修会（東日本）実施概要

本年度の初任者研修全国研修会（東日本）が、11月4日（金）から5日（土）の2日間、クロスウェーブ船橋（船橋市）で開催され、59名の初任者教員が受講した。

初日は、日本航空客室乗務員の経歴を持つ（株）ミズ・インターナショナル代表、水元澄子氏を講師に迎えて、講義と実習を行った。テーマは「企業から学ぶ—ビジネスマナー入門—」で、名刺交換やお辞儀の仕方など、具体的な実習が行われた。

1泊2日の合宿研修では、夜間も研修が行われる。夜7時から9時までは、少人数のグループに分かれての討議である。各学校での



生徒指導上の悩みや、授業の進め方など、若い教員たちは、時を忘れて熱心に議論していた。

研修2日目。この日は午前中、小学校教員と中学高校教員に別れてそれぞれの研修を行った。

小学校教員は、日本私学教育研究所、大森隆實研究員による「明日から役立つ授業経営」を受講した。小学生を指導するうえでの留意点や授業を進めるポイントなどを、具体的な事例に基づいて解説していた。講義の後は、他の受講者を児童にみたてての模擬授業が行われた。



中学高等学校教員は、元向上学園理事長、清水秀樹氏の「明日から役立つ生徒指導」を受講した。問題行動を起こす生徒への対応は、いつの時代でも教師達を悩まし続ける。そんな教育現場での実践的な事例への対応例を示され、受講者たちは熱心に聞き入っていた。

午後からは、再び小中高校の教員が合流し、京北高等学校校長の川合正氏による「学校教育相談とカウンセリング入門」へと続いた。生徒と教師の関わり、生徒同士の人間関係。揺れ動く思春期の複雑な心理を、教師はどう理解し指導していくか、教師に課せられた非常に重い課題を、実践的な話題を含めて示唆された。



午後4時からの閉会式では、修了証が手渡され、2日間の研修を終了した。

（高山博通）